

# 令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名	川西小学校
-----	-------

**1 教育目標** 豊かな心で自ら学び続ける川西っ子の育成 —思いやりとたくましさを備えた主体性のある児童の育成をめざして—

**2 基本方針**  
 ①子ども一人一人が認められ、大切にされる学校  
 ②子どもたちが主体的に学び活動する学校  
 ③教職員が協働して魅力あふれる教育活動を創造していく学校  
 ④家庭と地域と協働し、安全で信頼される学校

**3 指導目標**  
 ①進んで考える子(かしこく)      ②心のかよいあう子(やさしく)      ③自らきたえる子(たくましく)

### 評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
学習意欲を高め、確かな学力を身につけさせる	⑱協同的探究学習を取り入れた授業改善に努めた。	A	協同的探究学習で主体的・対話的な授業改善を進める。家庭学習や読書習慣に課題があり、図書の貸出工夫やPTA連携により読書環境の充実を図る。
「豊かな心」を育む	⑲児童同士のふれあい活動の充実や教師との信頼に基づく関係づくりに取り組んだ。	A	コミュニケーション、生活習慣、ネット利用に課題がある。コロナ禍での対話不足やスマホ普及が影響しており、善悪の判断と規律を重視した指導を継続する。
「健やかな体」を育む	⑳基本的な生活習慣の確立をめざし、安全に対する意識を向上させた。	A	夏場の運動や水泳の民間委託、時程変更などにより、活動の充実を図る。怪我防止の安全指導の強化と熱中症対策を柔軟に推進し、安全な教育環境を整える。
開かれた学校づくりを推進する	⑥地域住民・保護者と共にある学校作りが進み、学校のチーム力が向上している。	A	保護者や地域と連携した学習や体験活動を積極的に行う。情報発信ツールを活用し、学校の取組を保護者や地域へより積極的に伝えていく。
学校力、教師力の向上を目指す	①学校教育目標「豊かな心で自ら学び続ける川西っ子の育成」を意識した教育活動を実践した。	A	校訓の浸透に向けた掲示や啓発を推進する。交換授業や情報共有により、教職員間の連携を深め、組織的な指導力と専門性の向上を図る。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
「主体的に学び合う児童」の育成に向け、授業で思考する時間を確保する。家庭学習と読書習慣の定着が課題であり、図書環境の整備や本に触れる機会の創出を通じて、学びの充実を目指す。	A
縦割り班活動で自己有用感といじめ防止を図り、独自アンケートで課題の早期解決を推進する。善悪の判断や規律に課題があるため、教師が見守るとともに児童間の交流を増やし、組織的な指導と対応を行う。	A
外遊びによる体力増進を図るとともに、怪我防止に向けた安全指導を強化する。生活習慣や偏食に関する意識差を埋めるため、保護者への啓発と児童への個別指導を推進する。夏季の熱中症対策も検討していく。	A
地域住民や関係者を授業参観日等に招き、教育活動への理解を深めた。ホームページやメール配信で、学校の様子を積極的に発信することで、地域・保護者からの更なる理解と協力を得られるようにする。	A
校訓を活動に活かし、学校目標の更なる浸透を図る。交換授業や協同的探究学習で教師の指導力を高める。個別の支援に向け、保護者や専門機関と組織的に情報共有し、連携を図る。	A